

地域との協働による高等学校教育改革推進事業
(プロフェッショナル型)
成果検証事業 発表資料

「縮減社会を生き抜き、あきたの未来を創造する
新たな農業高校成長モデルの研究開発について」

秋田県立金足農業高等学校
研究開発主任 照内之尋

ロジックモデル (2020年作成時のもの)



主に本事業に関連する予算・人員配置

コンソーシアムの設置・構築

研究開発推進委員会の設置

地域協働学習支援員の配置
(コーディネーターの活用)

地域施設の利活用ならびに協働事業の展開

・選択する未来創生担当者会議の設置(仮称会議名)
・縮減社会におけるあきた型農業高校成長モデルの構築

主に本事業の研究開発活動の内容

秋田県農林水産部
秋田県教育委員会
秋田市などの行政
農食関連研究機関
幼保、小中高
大学、専門学校
地元企業、メディア
農家、農業法人、NPO等

Society 5.0社会の実現に向けて

【プログラム内容】
GAP教育・取得
カリキュラム・マネジメント開発
学校設定科目の設置
学科教科横断的プロジェクト
長期インターンシップ産業体験
高大連携による協働研究
企業連携による商品開発
海外農業研修とファームステイ
AI・スマート農業の実践

学びの機会や場の創造・左記の創出

【コミュニティマネジメント】
地域と学校との協働体制による地域・農業再生

超少子高齢、人口減少
世界・日本・秋田の最重要課題のフロントランナー

実践レベルへのStep up
●当事者意識の醸成(課題共有と仲間づくり)
●自分にできることを探究(課題解決活動の充実)
●50cm革命(出来る事から踏み出す)対話と行動での役割分担(問いを発する場の提供)
●学校内外との協働実施(価値観共有・社会連結)
●多様な能力の活用(農業クラブやイベント参加)

あきたの農業を改革する人材の育成
(人材育成支援体制の構築)

左記の結果における変化の様子

○地域課題に対してグローバルな視座を養う

グローバルな視座の獲得

○問題解決のために必要かつ高度な思考力とコミュニケーション能力を養う

Altitude communication

○社会の本質を俯瞰的に思考する力を養う

先見性の獲得

○地域創生のための思考力、ものの見方をソーシャルキャピタルとイノベーションの観点から養う

協働行動の活発化による社会効率性の向上

本事業で目指す生徒の資質・能力、地域の状態

☆縮減社会に対応した「秋田型農業成長モデル」の開発、食糧・農林業、環境、生活を支えるための改革する力の育成や、マネジメントに貢献する高度職業人の育成・資質能力の向上

育てる力
Keyword:【改革する力】【実践力】【深い思考力】【マネジメント力】

☆持続可能な地域社会を支えるソーシャルキャピタルや、インフラストラクチャーデザインに貢献する高度職業人の育成ならびに資質能力の向上

育てる力
Keyword:将来設計力【先見力】【多文化協働力】【人間関係構築力】

地域の状態

●地域の結びつき強化によるコミュニティの維持、活性化が図られている。
●産学官の連携で、内発的で持続する仕組みが完成し、モノとの結びつけに成功。
●幸福感や豊かさを実感し、新しい価値を創造していく営みが身に付いている。

研究課題 「縮減社会を生き抜き、あきたの未来を創造する新たな農業高校成長モデルの研究開発」

～地域定住人材の育成を目指したKANANOスタイル農業高校改革プロジェクト～

- 目指す生徒像
- 1 人口減少に対応しつつ、農業関連産業を変革することができる人材を育成する。
 - 2 地域に定住し、本県農業の在り方や地域農業を担う人材を育成する。

視角1 秋田は超少子高齢、人口減少県。世界・日本の最重要課題のフロントランナー
 視角2 地域との協働による地域再生・農業改革を5学科で体現する研究開発プログラム

金農オリジナル学習評価法(可視化された指導と評価の一体化)
 GKH(金農総幸福量)、ポートフォリオ、ルーブリック等により評価・検証

「秋田型農業成長モデル」

- 地域に魅力を感じ、地域に定住したいと思う生徒の割合・・・90%(令和4年度目標値)
- 就職希望者の中で県内に就職をした生徒の割合……………95%(令和4年度目標値)
- 地域協働事業を活用して研修等に参加した生徒の割合…90%(令和4年度目標値)

地方創生として目指す地域の将来像

新規就農者等の向上、コミュニティの維持

地域産業の発展や雇用確保、所得の向上

持続的で内発的な地域社会の実現

幸福感や豊かさなど新しい価値観の創造

身に付けさせたい資質・能力

- ①改革する力
- ②思考力
- ③人間関係構築力
- ④実践力
- ⑤創造力・将来設計力
- ⑥先見力
- ⑦マネジメント力
- ⑧多文化協働力

1 「グローバルスタディ」領域

GAP教育やSDGS等のグローバルスタンダードから地域を見る目を養う

2 「第4次産業・農業革命」領域

大学や研究関連機関との連携によるスマート農業などの先端技術の習得

3 「ソーシャルスキルアップ」領域

長期インターンシップや企業との協働による商品開発・6次産業化の実践

4 「地域一体型農業コミュニティ形成」領域

地域資源の活用、地域文化の継承・普及、コミュニティプラットフォーム形成

カリキュラム1年次
基礎

カリキュラム2年次
発展

カリキュラム
3年次
応用と実践

職場見学等
で地域理解

学校設定科目
【地域創生論】

学校設定科目
【社会起業家実践】

到達目標

地域理解

◆関係科目「農業と環境」「農業情報処理」「総合実習」他

到達目標

地域課題発見と解決

◆関係科目「作物」「野菜」「畜産」「測量」「食品流通」他

到達目標

地域創造実践と提言

◆関係科目「課題研究」「農業経営」「水循環」「食文化」他

先駆的な取組を支援「金農支援コンソーシアム」

◆共学共創コミュニティの創出

行政(秋田県、秋田市、潟上市、大潟村)、等、大学等研究機関(秋田大学、秋田県立大学)、関連企業、農家等との連携

◆研究推進の環境整備

研究開発推進委員会の設置(校内研究体制の推進)

◆地域に開かれたカリキュラム開発

「カリキュラム開発等専門家」・「地域協働学習実施支援員」の配置



コンソーシアムの構築

金農コンソーシアム 構成団体（8組織）

1. 秋田大学
2. 秋田県立大学
3. 秋田市
4. 潟上市
5. 大潟村
6. 秋田県産業教育振興会
7. 秋田県教育委員会
8. 秋田県立金足農業高校

秋田県立大学と金足農業高校 連携協力協定締結（R3.2.17）



カリキュラム・マネジメント



現場見学・出前授業等 で <u>地域理解</u>	学校設定科目 ⇒ <u>地域創生論</u> (選択2単位)	学校設定科目 ⇒ <u>社会起業家実践</u> (選択2単位)
<u>到達目標「地域理解」</u> ◆関係科目「農業と環境」「農業情報処理」「総合実習」他	<u>到達目標</u> <u>「地域課題発見と解決」</u> ◆関係科目「作物」「野菜」「畜産」「測量」「食品流通」他	<u>到達目標</u> <u>「地域創造実践と提言」</u> ◆関係科目「農業経営」「水循環」「食文化」 ⇒「課題研究」深い学びへ

コンソーシアム＋研究開発推進委員会＋カリキュラム開発等専門家

学校設定科目「地域創生論」(2年次)

外部講師によるオムニバス方式・公開講座(R3:10回・R4:9回)

秋田で生きる
Live in akita

金農発!! 地域公開講座

県民の皆様(中学生以上)に講座を公開します。ご応募下さい!

■実施場所:本校第一体育館

Regional Revitalization Theory

地域創生論

B 地域課題の解決

あきたの未来を
創造します!

聴講の応募方法

【1 メールで申し込む場合】

右記のメールアドレスに、①氏名 ②住所 ③連絡先 ④聴講希望番号(第〇講)を記載のうえ、送信して下さい。

【2 電話で申し込む場合】

右記の電話番号にかけ、上記①~④をお知らせください。(担当:照内之尋、高橋寿徳 受付時間10:00~17:00)

注意事項

- (1)申込は、各講義開催日の3日前までに申込みようお願いします(期限厳守)
- (2)人数制限がありますので、希望に添えない場合もあります。
- (3)来校の際は検温を実施し、マスクを着用願います。
- (4)コロナ感染状況次第では、公開を中止します(HPでも掲載します)。



A 地域を知る

地域の魅力と課題
を再発見します!

地域づくりのプロが
未来の秋田を語ります
(年間全15講義を実施します)

第1講 5月11日(火) 13:30-15:15
富士大学 学長 岡田秀二 氏

第2講 5月26日(水) 13:30-15:15
秋田県立大学教授 谷口吉光 氏

第3講 6月9日(水) 13:30-15:15
秋田大学 准教授 益満 環 氏

第4講 6月22日(火) 13:30-15:15
秋田今野商店代表 今野 宏 氏

第5講 6月30日(水) 13:30-15:15
たけや製パン代表 武藤真人 氏

※第6講以降も、現行政担当者や農業経営者等の講義を予定しています。HPで随時お知らせします。

C 地域を科学する

地域政策や経済学
を学びます!

Study Practice Science

http://www.kanano-h.akita-pref.ed.jp/

kanano-h@akita-pref.ed.jp

018-873-3311-3312



秋田大学教育文化学部

地域文化学科准教授 益満環



島根大学大学院

准教授 中村怜詞



オルウィーヴ合同会社

代表取締役 竹下香織

「おいしいものを食べて、勉強して遊んでこれ以上な



仙北市 齋藤農園

代表 齋藤瑠璃子



令和3年度公開講座パンフレット(学校HPにて)

探究学習（課題研究） 研究課題名

- ・生育するための**環境と天候**に関する研究(生物資源)
- ・**廃棄野菜の利用加工**に関する研究(生物資源)
- ・八郎潟干拓の歴史的経緯と**水産資源**の研究(環境土木)
- ・雨水を効率的に浸透させる研究(環境土木)
- ・**ブラックバスを活用**したしよつる製造に関する研究(食品流通)
- ・米ぬかベーグルに関する研究(食品流通)
- ・**持続可能な地域づくり**に関する研究(造園緑地)
- ・**緑化材料の効用**の研究(造園緑地)
- ・繋～ワタで支えるみんなの笑顔～ (生活科学)
- ・**県産農産物の加工と商品化探究**の取り組みに関する研究(生活科学)

3年間の事業の属性

【令和2年度】

実施事業数 39 事業・参加生徒数 811名

【令和3年度】

実施事業数 46 事業・参加生徒数 1,631名

【令和4年度】

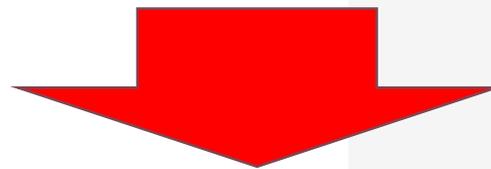
実施事業数 56 事業・参加生徒数 2,392名

(令和4年度は令和5年2月20日現在)

国立青少年教育振興機構による国際調査

によれば、日本の高校生は

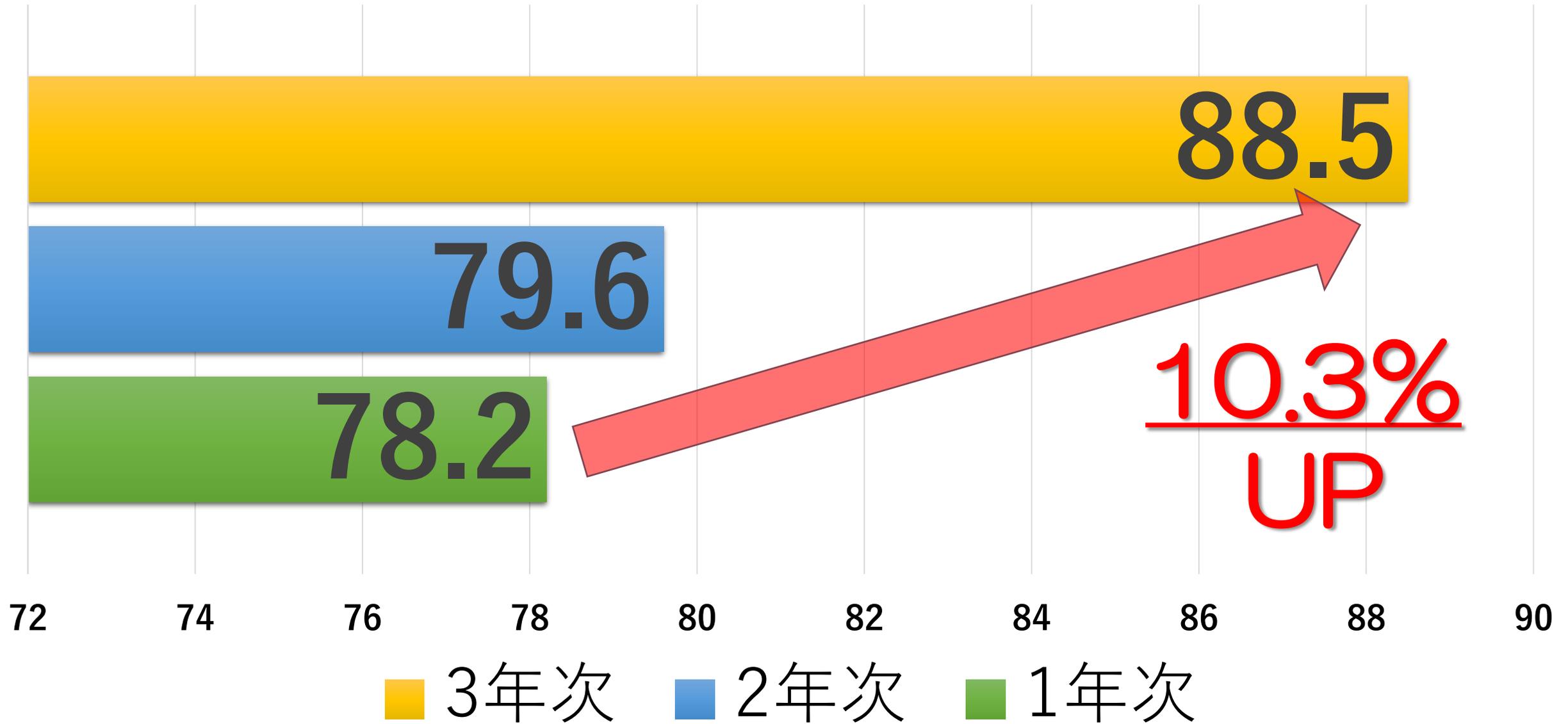
- ・「自分を価値ある人間だ」という自尊心
- ・「自分自身に満足している」という自己肯定感
- ・「自らの参加で社会を変えられるかも」という意識



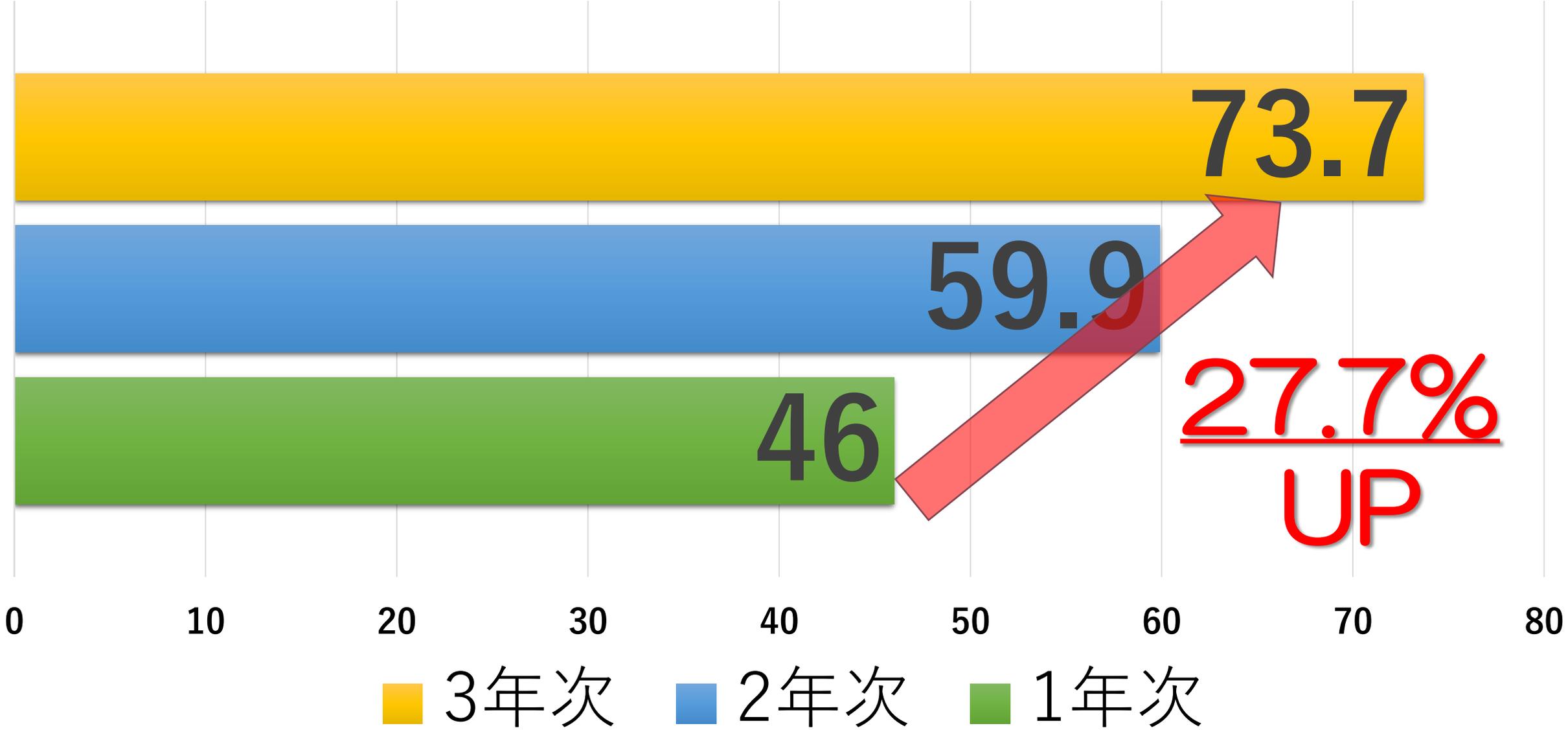
諸外国の高校生と比較し **低い** … **現実**

⇒社会の中で責任を持って生きることに着目させる。自分と他者や地域社会との関係について考えを深めることが重要

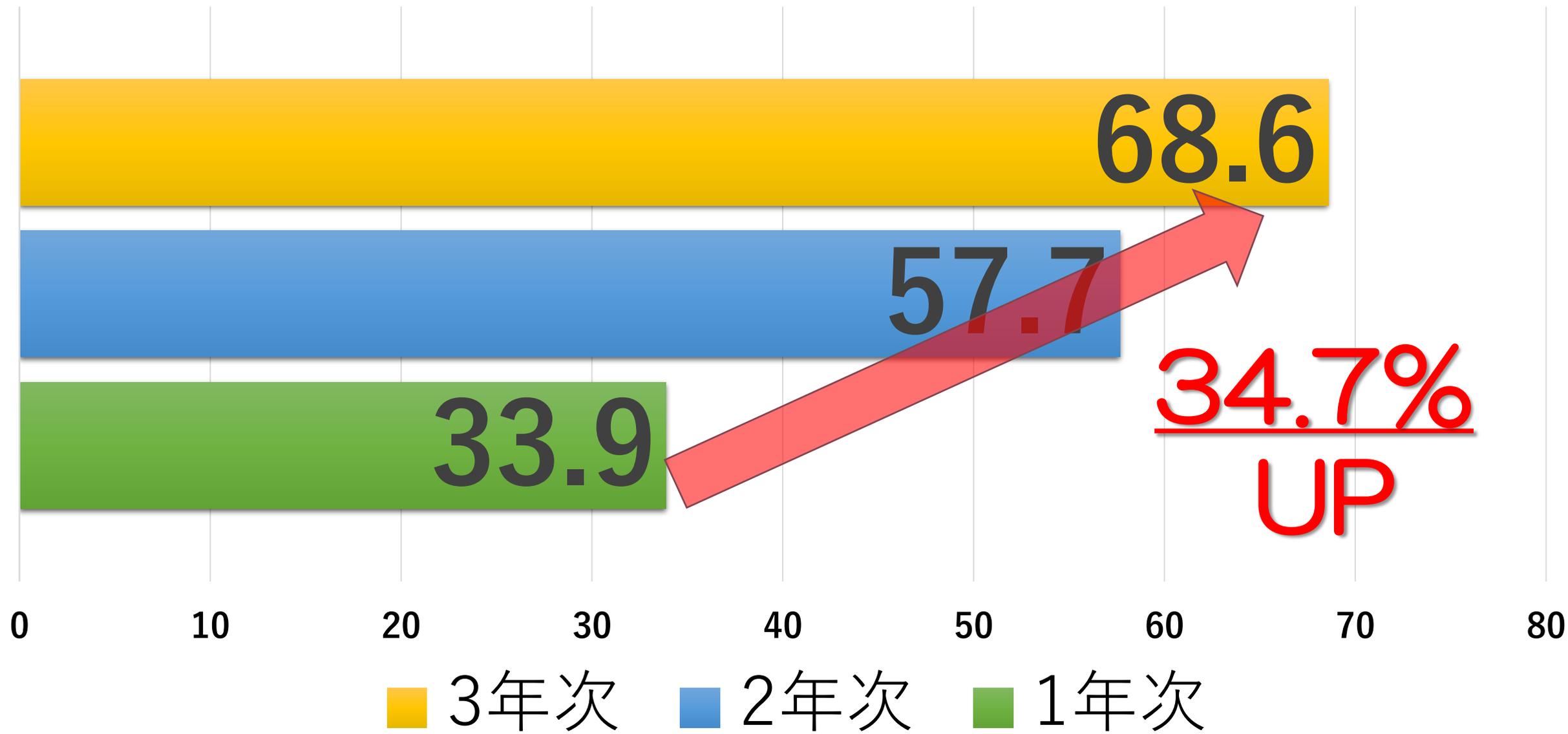
自分には良いところがあると思う



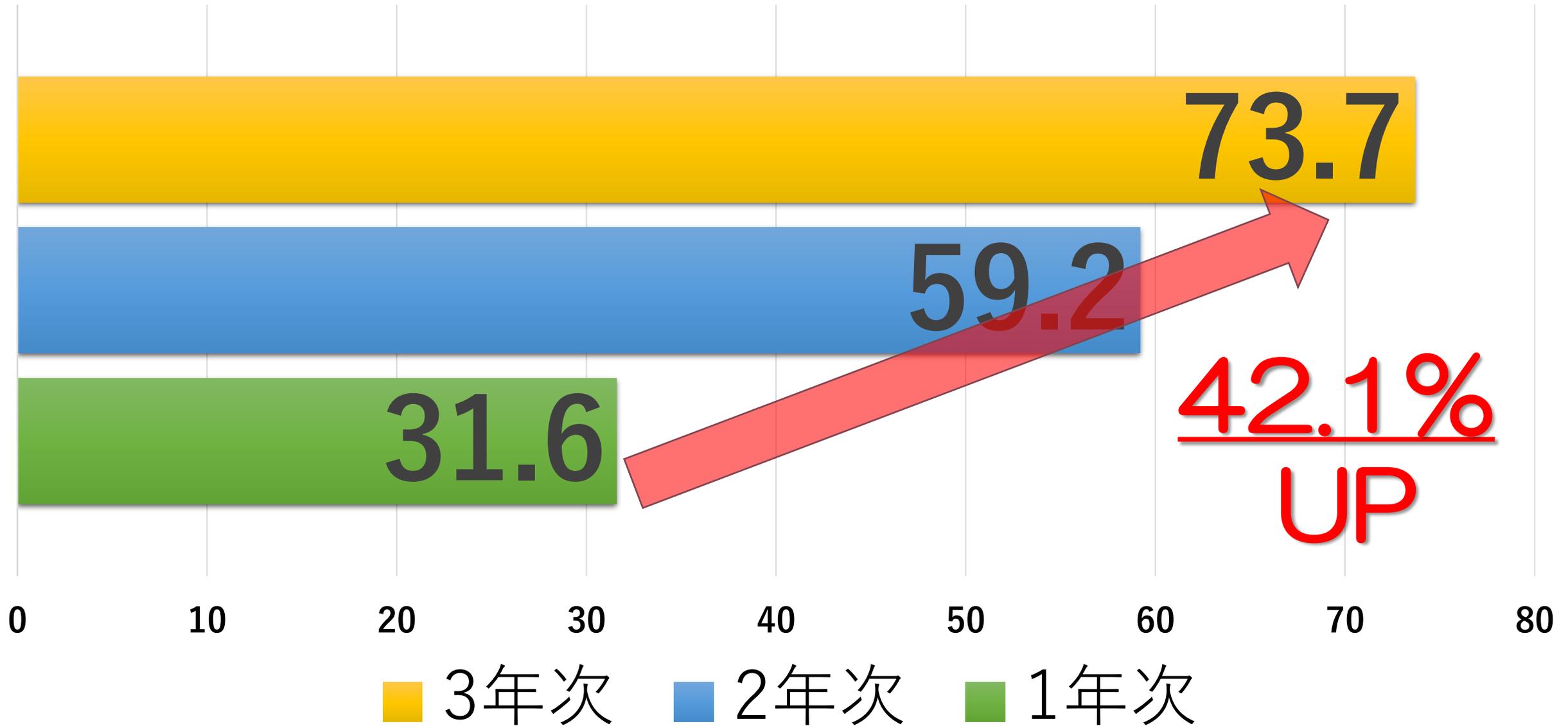
自分自身に満足している



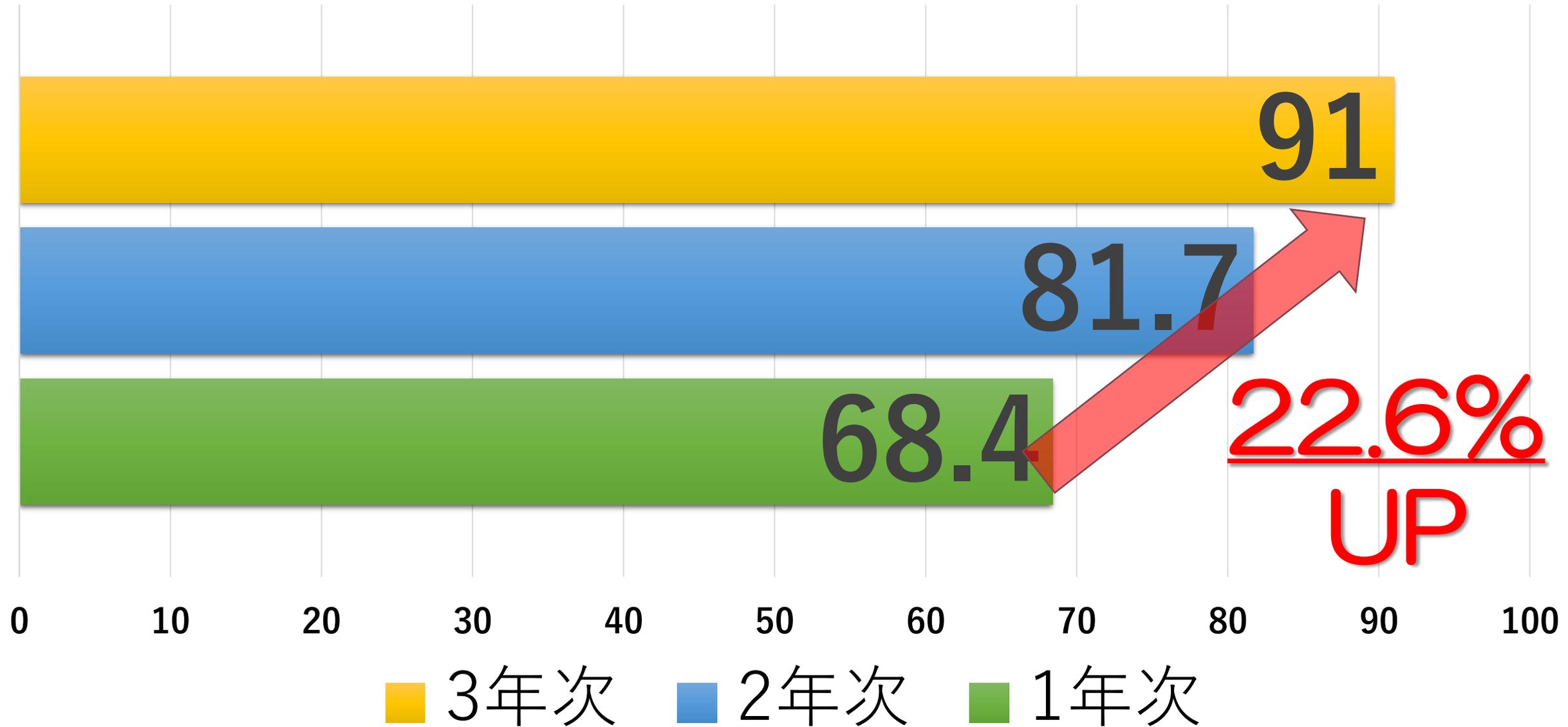
地域の担い手として政策決定に関わりたい



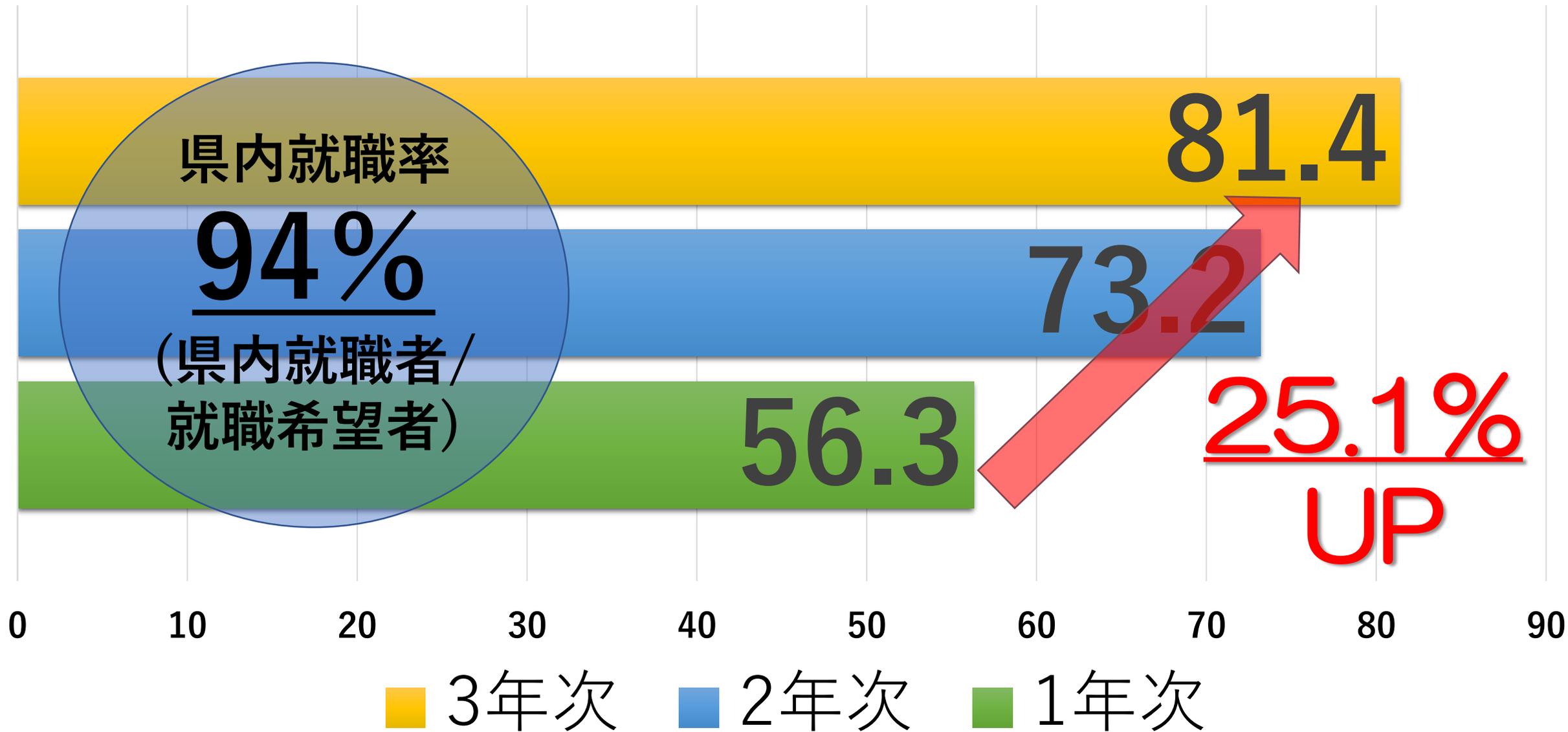
私に関わることで社会を変えられるかも？



将来、自分の住んでいる地域に役立ちたい



将来、自分の住んでいる地域で働きたい

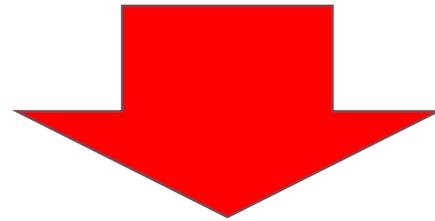


秋田県立金足農業高校 地域との協働による高等学校教育改革推進事業
 Research and Development ROAD MAP

目標値 (K P I) への達成度

K P I の項目	KPI3年目の 目標シート	高校魅力化 評価	G K H 金農総幸福量
地域課題に意欲的に取り組む	85%	81%(-4%)	86%(+1%)
外からの視点で地域を考える	80%	79%(-1%)	81%(+1%)
地域のために役立ちたい	90%	91%(+1%)	92%(+1%)
現在の豊かさや幸福度	90%	85%(-5%)	98%(+8%)
地域に定住し働きたい	80%	81%(+1%)	83%(+3%)
就職希望者の中で、県内就職を希望し、就職した生徒の割合	95%		94%(-1%)

評価は、内発的発展を
促す外発的動機付け



心から湧き上がる地域への思い
自己肯定感が養われているか

コンソーシアム構築の成果と課題

[成果]

- 個と個のつながりではなく「組織と組織」の連携が可能
- 両者の知識・技術・手法・思考の共有化、意思疎通
- 事業実施までの流れがスムーズ
- 進路活動に直結する傾向も見られ、キャリア形成に寄与

[課題]

- 担当者との連絡調整や意思決定に時間を要する
- 学校からの投げかけ（一方通行）のみになりやすい

今後の展望(予算面)

- ・農業教育高度化事業（農林水産部）
- ・森づくり県民提案事業（農林水産部）
- ・持続可能な地域づくり事業（高校教育課）
- ・建設業若年者理解・定着促進事業
通称 つなぐ化事業（厚生労働省）等々



今後の展望(実施体制)

- ・連携協力協定の持続
(その他の大学や市町村との連携)
- ・コンソーシアムの継続 (新規参入も視野に)
- ・校内の協働体制の維持と分掌の設置
(人事異動による協働体制の低下防止)

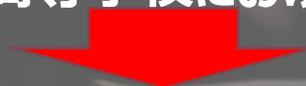
科目「課題研究」における教科横断的な 学びの推進ならびに学校間連携の推進

各高等学校の特色化・魅力化

～各学科に共通して取り組むべき方策～として

「これからの高等学校教育について」（文部科学省初等中等教育局参事官高等学校担当 令和2年11月25日）

- ① **スクールミッションの再定義**
- ② **スクールポリシーの策定**
- ③ **地域社会や高等教育機関等の関係機関との連携・協議**
- ④ **中山間地域や離島等の高等学校における多様な教育資源の活用**



- ◎ **本校が目指すべき姿「グランドデザイン」を整備**
- ◎ **地域化・少子化に伴う学科再編を視野に入れた各学科における教科・科目横断的な課題研究の推進**
- ◎ **本校研究開発モデルの県内農業高校への波及ならびに学校間連携の推進**



教職員によるアンケート調査（回答者33名,2022年10月）



生徒の変化と教員の変化

生徒：地域に対する価値観の変化

生徒：郷土愛・幸福感の醸成・再確認

生徒：地域産業への理解（知る）

生徒：自己肯定感や自己の存在意義

教員：地域に対する価値観の変化

教員：地域とともに学ぶ・足下に教材がある

教員：自身の授業の質・資質能力の向上

ありがとうございました！
これからも地域に根ざした学校のため、
地域のプラットフォーム化を目指して頑張ります。



秋田県立金足農業高等学校



018-873-3311



Kanaashinougyokoutougakkou@pref.akita.lg.jp



<http://www.kanano-h.akita-pref.ed.jp/>